記者発表資料

令和　８年　７月２７日
秋田県仙北地域振興局建設部
仙　　北　　市
東北地方整備局玉川ダム管理所

＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝

# 玉川上流域の緊急放流を想定した合同危機管理演習を行います

## ～ダムの緊急放流に伴う防災情報伝達と住民等避難対応の確認・習熟～

＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝：＝

危機管理演習は、玉川上流域の緊急放流を想定し、ロールプレイング方式により行われるものです。
本演習は、玉川ダム・鎧畑ダムの緊急放流に伴う関係機関との防災情報伝達と自治体によるダム下流域の住民等への避難対応の確認及び習熟を図ることを目的としています。

＜危機管理演習＞
１．日　　時：令和８年７月３１日（金）１３時００分～１６時１５分
２．場　　所：仙北市役所田沢湖庁舎（３階）第１会議室ほか
３．参加機関：仙北市、秋田県仙北地域振興局建設部、東北電力(株)、
玉川ダム・鎧畑ダム連携強化推進室
合計約５０名

＜演習振り返り・講評等＞
１．日　　時：令和８年７月３１日（金）１６時３０分～１７時１５分
２．場　　所：仙北市役所田沢湖庁舎（３階）第１会議室
３．内　　容：ダム関連情報補足説明、反省点、講評ほか

※注意事項
１）取材を希望される報道関係者の方は、７月３０日（木）１２時までに「別紙申込書」記載の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただくようお願いします。

＜　発表記者会：秋田県政記者会、秋田魁新報社角館支局　＞


| 問合せ先 | |
|---|---|
| 【演習全般に関すること】<br>国土交通省　東北地方整備局　玉川ダム管理所<br>住所：秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無９２<br>電話：０１８７－４９－２１７０（代表）<br>管理所長　　成田　正喜<br>専門調査官　松尾　博人 | 【演習会場に関すること】<br>仙北市総務部総合防災課<br>住所：秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後３０<br>電話：０１８７－４３－１１１５（直通）<br>危機管理監　　田口　俊彦 |

送信先：玉川ダム管理所
メール：thr-tamagawa01@ki.mlit.go.jp

# 「玉川上流域の緊急放流を想定した危機管理演習」取材（傍聴）申込書

取材を希望される報道関係者の方は、以下の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただくようお願いします。

電子メール送付期限：令和８年７月３０日（木）１２：００

１．会社名
２．氏　名
３．連絡先（TEL）
４．取材人数（代表者含む）
５．テレビカメラの有無
　「有」の場合、テレビカメラの台数
６．その他

※注意事項
・当日演習開始前の取材は原則お受けできません。
・演習内の写真及びテレビ撮影は「演習開始１３：００から終了１６：１５までといたします。
・演習中は写真及びテレビ撮影が可能としますが、演習者への取材等はお受けできません。
・演習終了後（１６：１５から１５分程度）、記者ブリーフィングを演習室にて行います。
・上記のほか、演習を円滑に進めるため、当局の指示にご協力をお願いします。

# 令和8年度　玉川上流域の緊急放流を想定した危機管理演習　概要

## 1.演習目的

本演習は、災害や危機発生時の状況を模擬的に再現の上、参加者が自身の役割を演じながら対応策を判断・実行する「ロールプレイング型図上演習」に基づき、①ダムの緊急放流や玉川の水位上昇に伴う関係機関（ダム管理者・河川管理者（秋田県）・仙北市・電力事業者等）との防災情報伝達、また、②ダム下流域の住民等への避難対応の確認および習熟を図ることを目的とする。

## 2.演習参加機関

| 演習部 | 指揮部 |
|---|---|
| 玉川ダム管理所、鎧畑ダム管理事務所、<br>秋田県 仙北地域振興局 建設部、仙北市、<br>東北電力㈱、沿川住民（白岩地区自主防災会） | 委託事業者 |

## 3.演習スケジュール

| 時刻 | 次第 |
|---|---|
| 13:00 ～ 13:05 | 開会挨拶 |
| 13:05 ～ 13:25 | 事前説明 |
| 13:25 ～ 16:10 | 演習 |
| 16:10 ～ 16:15 | 中締め挨拶 |
| 16:15 ～ 17:00 | 演習の補足説明、振り返り、講評 |

## 4.主要演習項目

●玉川ダム管理所、鎧畑ダム管理事務所
- ・ダムの緊急放流に係る情報提供
- ・避難情報発表の判断への助言

●仙北市
- ・ダムの緊急放流に係る情報の収集伝達
- ・避難情報の検討・発表　、・避難所の開設・運営
- ・その他避難対応全般

●秋田県 仙北地域振興局 建設部、東北電力㈱
- ・ダムの緊急放流に係る情報の収集

●沿川住民（白岩地区自主防災会）
- ・避難情報の受信、避難対応

## 参考）ロールプレイング型図上演習とは

- ダムの緊急放流による水害を想定し、災害対応を擬似体験する
- 演習を受ける側（演習部）と、仕掛ける側（指揮部）により構成され、演習を受ける側（演習部）は、演習のシナリオを知らされていない
- 演習部は、指揮部が演ずる各関係機関からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上で行動を検討する



令和7年度　演習の様子